

I フードビジネス推進に向けた重点的な取組

1 フードビジネス振興構想の目指す姿

食を通じた産業競争力の強化と雇用の創出による地域の活性化

【本県が展開するフードビジネス：5つの領域からトータルに取組】

生産	マーケットが求める安全・安心な農林水産物を安定して生産・供給
製造	県内素材を中心に多様な加工、食品製造を行い、高付加価値化
販売	販路開拓や流通改革により生産者等が利益を得る価格で販売
誘致	食の魅力の発信による国内外からの人や企業の呼び込み
波及	農林水産物の生産や食品加工・製造の資機材を県内で製造

従来の取組を加速化させるとともに、新たな視点（マーケットイン、連携・価値連鎖、人材・基盤強化）や発想のもと、明確な数値目標を見据え総合的に取り組む

2 取組の内容

(1) フードビジネスの創出・拡大

(取組のアプローチ1)

○ フードビジネスプロジェクトを中心とした全県的な取組（資料2：1～3頁）

- ・ 重点的に取り組む県産品の販路・生産拡大、海外輸出、企業誘致・参入など全県的な取組・展開
- ・ 各プロジェクト毎に生産から波及に至る各領域に対応した総合的・広域的な取組を関係機関、企業、庁内各部局が連携して検討・実行

(取組のアプローチ2)

○ 地域を起点としたフードビジネスの育成・拡大の取組（資料2：4頁）

- ・ 地域資源を生かした商品の開発、販路開拓や地域づくり、人材育成など各地域における取組
- ・ 地域の個別課題について、市町村や関係団体、県で連携し、地域内の情報の共有やマッチングをサポートするとともに、地域から全県的な取組への拡大を支援

(2) システムづくり

- ・ 生産者と実需者のマッチングや新たな販路拡大に活用するため、県内の生産・加工情報や県外マーケット情報の収集・分析と集約・蓄積した情報の効果的な発信・提供
- ・ 大学や企業、教育委員会と連携したフードビジネスを担う人材育成
- ・ 県外の流通や生産管理等の専門家、公的試験研究機関など外部人材の活用
- ・ オープンラボや大学との連携などによるフードビジネスに係る研究開発の充実強化

(3) 機運の醸成

- ・ 県内の生産者、加工業者を対象とした消費地の流通現場見学会の開催や先行事例等を用いた勉強会の開催、シンポジウムの開催
- ・ フードビジネス定期情報誌の発行等県内のフードビジネスに関する取組の情報発信

3 推進体制

① 宮崎県フードビジネス推進会議

- ・ フードビジネスを本県の成長産業としていくための共通認識形成
- ・ フードビジネスを全県的に推進していくための連携・協力体制の構築

② 宮崎県フードビジネス推進本部(県庁内組織)

- ・ 県庁内の関係部局によるフードビジネス推進組織
- ・ プロジェクト毎に連絡会議を設置し、関係機関や企業等の参画を得ながらワーキンググループにおいて部局横断的に取り組む

③ 地域ネットワーク会議

- ・ 地域におけるフードビジネス推進組織
- ・ 市町村、関係団体、県出先機関等から構成し、情報共有や地域における課題抽出・連携をサポート

(推進体制図)

